

事業者名	熊本県								
機器名	超精密形状測定機								
機器写真									
特徴・用途	ISO25178-605に準拠した非接触測定方式で、ナノメートルレベルの粗さからミリメートルレベルの形状まで高精度に測定できる機器である。主な用途は精密金型、MEMS製品などの部品の微細形状測定である。								
設置場所	熊本県産業技術センター 本館1階 超精密測定室								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
	H 25年1月								0
	H 25年2月								0
	H 25年3月	4	0	0	0	0	0	0	0
	H 25年4月	4	0	1	0	0	0	0	1
	H 25年5月	10	2	5	1	2	0	4	12
	H 25年6月	8	2	3	0	0	1	5	11
	H 25年7月	6	3	2	0	0	0	3	8
	H 25年8月	11	43	8	0	0	2	5	58
	H 25年9月	6	7	2	0	0	1	2	12
	H 25年10月	4	2	2	0	0	4	2	10
	H 25年11月	6	6	4	0	0	3	1	14
	H 25年12月	4	1	3	0	0	2	1	7
	利用者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、非接触表面粗さ測定関連のISO規格(JIS規格)が作成され、今まで発注企業と受注企業で曖昧にされてきた検査データの提出が、ISO規格に準拠した形でデータシートの提出を求められるようになってきた。しかし、中小企業各社で本装置のような高価な測定機を保有することは困難で、当センターに導入された事で大変助かっている。 							
研究開発事例等	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、熊本県単独の研究テーマとして、「エネルギー利用の効率化のための表面形状付与技術の開発」を行っており、このテーマの中で表面形状の評価測定を行う際に本装置を使用している。 								
補助事業概要 の広報資料	http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h24/pdf/24-045koho.pdf								